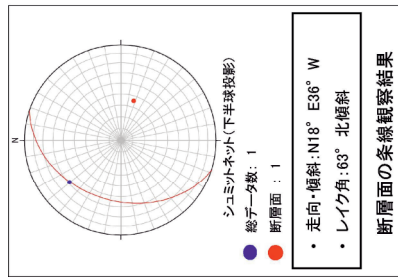
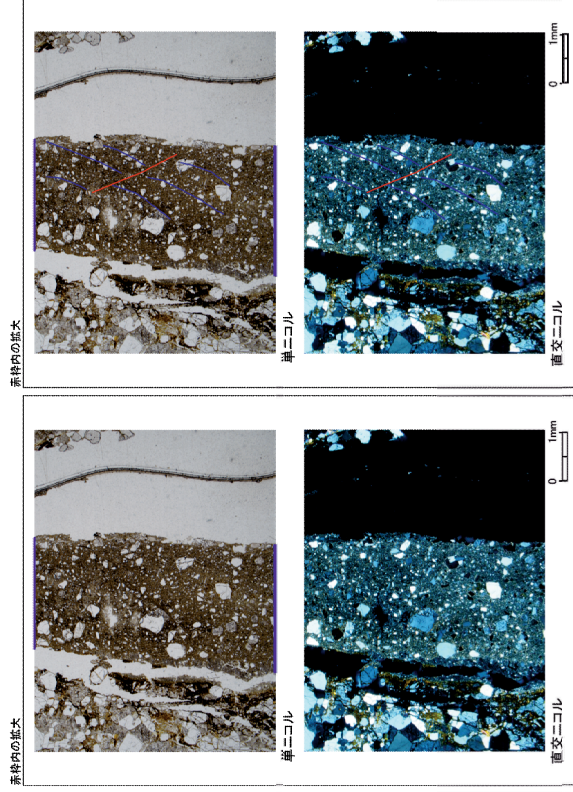
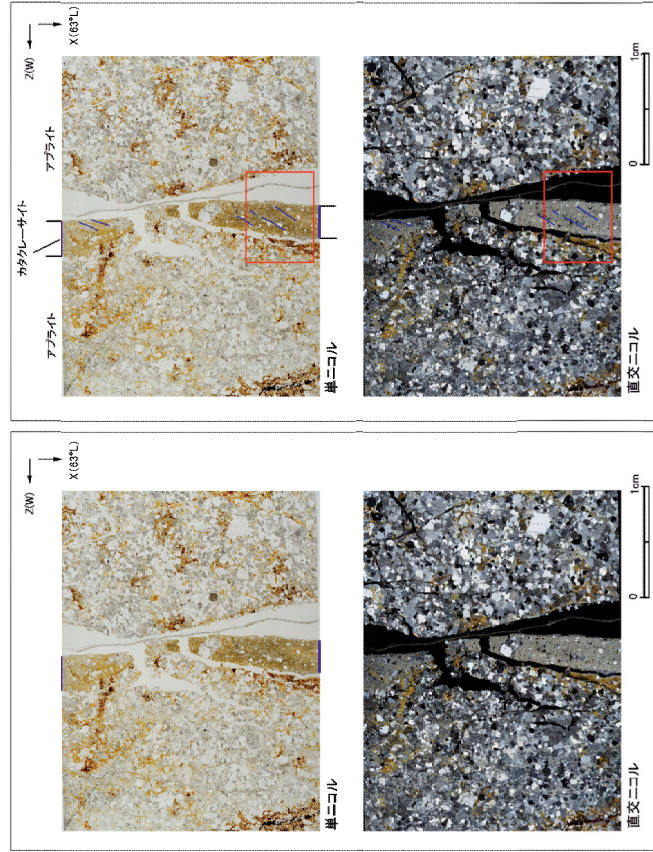
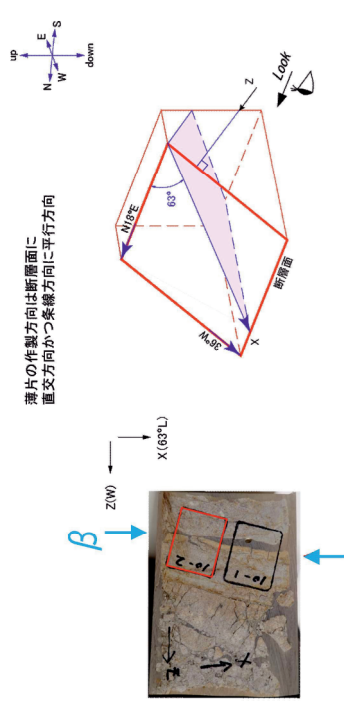


- ・H31-R-1のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動ゾーンの変位センスは、右ずれを伴う正断層成分が卓越する。
- ・最新活動ゾーンに以下の特徴が認められることから、カタクレーサイトのみのみからなる破砕部であると判断した。
 - (カタクレーサイト) 基質を構成する粘土鉱物は少ない。
 - (カタクレーサイト) 断層面に沿った粘土状部の分布は局所的である。
 - (カタクレーサイト) 多様な粒径の岩片が多く認められる。
 - (カタクレーサイト) 角ばった岩片が多い。
 - (カタクレーサイト) ジグソー状の角礫群が認められる。



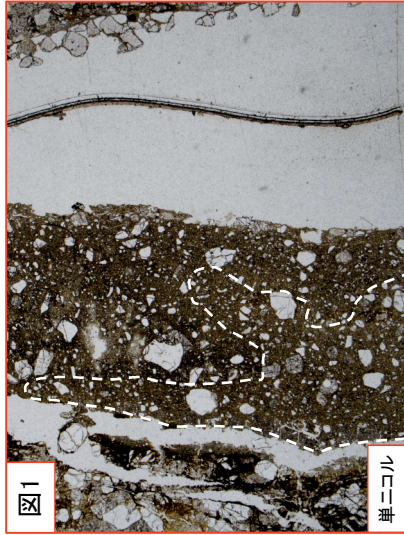
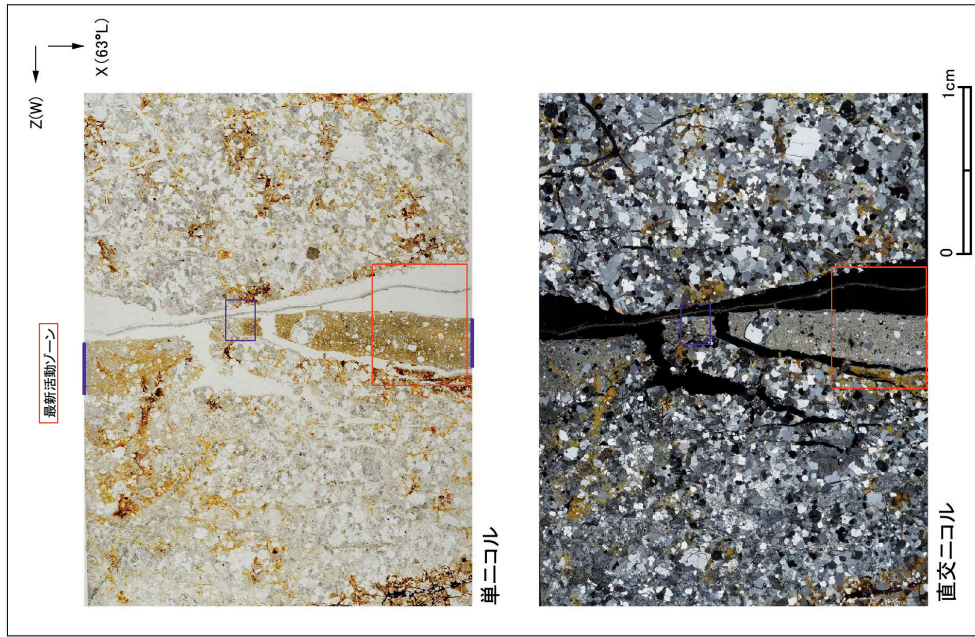
※断層面 β は最新活動面



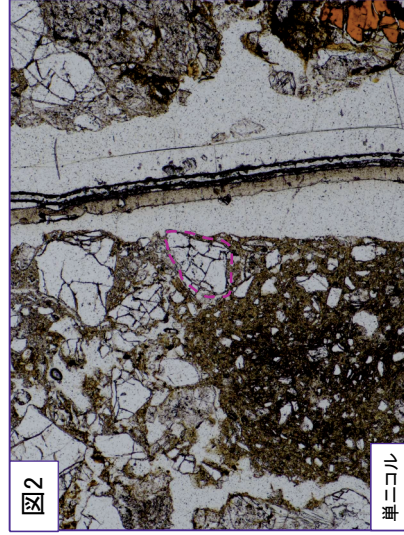
凡例
断層がウジ
カタクレーサイト
R1面
P面

・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。

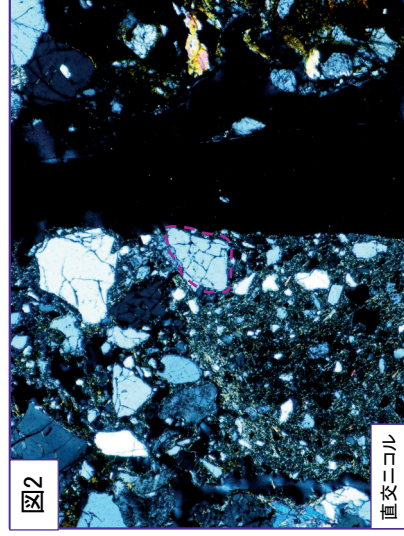
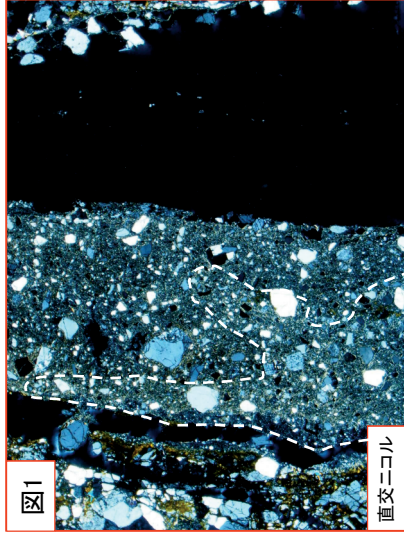
- ▶ 基質を構成する粘土鉱物は少ない。(図1)
- ▶ 断層面に沿った粘土状部の分布は局所的である。(図1)
- ▶ 多様な粒径の岩片が多く認められる。(図1)
- ▶ 角ばった岩片が多い。(図1)
- ▶ ジグソー状の角礫群が認められる。(図2)



破線は粘土状部の分布範囲を示す



破線はジグソー状の角礫群の範囲を示す



(肉眼観察結果 深度38.72m)

- 深度38.72mの「淡黄褐色粘土」と記載の箇所については、軟質で、粘土の連続性・直線性が良く、原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織も認められない。これらのことから断層ガウジであると判断した。

(観察位置)

- 薄片試料は、肉眼観察により認定した断層面βに沿って最も細粒化した部分を含み、人為的な試料の乱れの無い部分で作製した。

※断層面βは最新活動面

(薄片観察結果)

- 薄片観察では、以下の通り断層ガウジの特徴が認められなかった。
 - 基質を構成する粘土鉱物は少ない。
 - 断層面に沿った粘土状部の分布は局所的である。
- 薄片観察では、以下の通りカタクレーサーサイトの特徴が認められた。
 - 多様な粒径の岩片が多く認められる。
 - 角ばった岩片が多い。
 - ジグソー状の角礫群が認められる。

以上より、薄片観察結果では、最新活動ゾーンの細粒部をカタクレーサーサイトであると判断した。



(総合評価)

当該破砕部については、以下の理由から変質したカタクレーサーサイトであると評価した。

- 肉眼観察で確認された「淡黄褐色粘土」と記載の箇所については、その特徴から断層ガウジであると判断した。
 - 薄片観察で確認された最新活動ゾーンの細粒部は、その特徴からカタクレーサーサイトであると判断した。
- 肉眼観察で断層ガウジと認定した「淡黄褐色粘土」と記載の箇所については、薄片観察では岩片主体の基質で構成されている。このため、最新活動ゾーンの細粒部は変質したカタクレーサーサイトと評価した。

断層ガウジ・断層角礫の有無	断層ガウジ・断層角礫の幅[cm]	明瞭なせん断構造・変形構造*
無	— (0.6)	— (無)

*:断層岩区分の総合評価で断層ガウジ・断層角礫の有無が「有」の場合は肉眼観察結果を記載。断層岩区分の総合評価で断層ガウジ・断層角礫の有無が「無」の場合「—」と記載して括弧内に肉眼観察結果を記載。

・深度42.24~42.31mの「砂質粘土状」と記載の箇所については、軟質であるが、灰白色粘土が網目状に分布し、含まれる細粒部の連続性及び直線性に乏しく、原岩組織が認められる岩片からなる組織が認められる。これらのことから、変質したカタクレーサイトであると判断した。

・上端の深度42.24mの「幅2mmの軟質な灰白色粘土」と記載の箇所については、軟質で、粘土の連続性及び直線性が良く、原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織も認められない。これらのことから、断層ガウジであると判断した。

ボーリング柱状図

●42.24~42.31m：破砕部
 灰白色の砂質粘土状部(Hc-2)。上端65°で直線的な幅2mmの軟質な灰白色粘土を挟む。下端は不明瞭。軟質。幅10~25mm程度。

コア写真



凡例
 断層ガウジ
 破砕部範囲※
 ※:写真上は白色で記載

灰白色粘土の連続性・直線性が良い
 灰白色粘土が網目状に分布する



青枠部拡大

・薄片は断層面 α 及び細粒化が進んだ範囲を含むように作製した。

コア写真

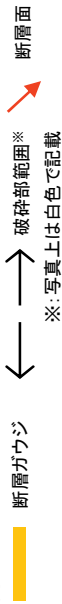
※断層面 α は最新活動面



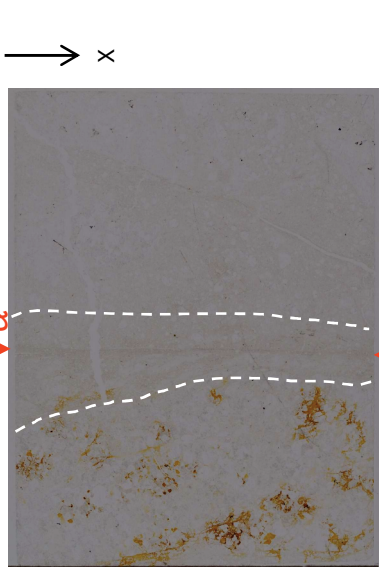
42

43

凡例

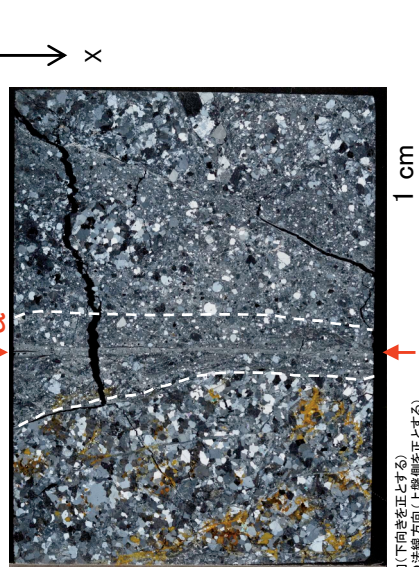


薄片全景写真(単ニコル)



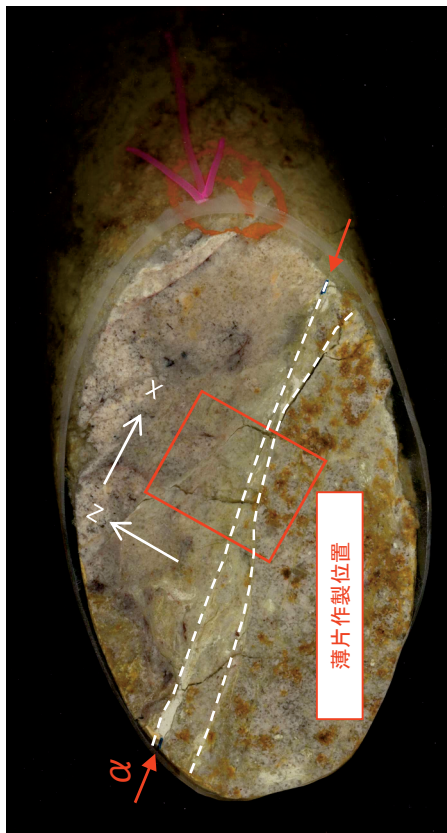
X: 条線方向(下向きを正とする)
Z: 断層面の法線方向(上向きを正とする)

薄片全景写真(直交ニコル)



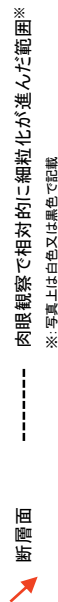
X: 条線方向(下向きを正とする)
Z: 断層面の法線方向(上向きを正とする)

薄片作製位置写真



X: 条線方向(下向きを正とする)
Z: 断層面の法線方向(上向きを正とする)

凡例



第7. 4. 4. 369図 (2) 破碎部性状 H31-R-1 深度42.24~42.31m (薄片作製位置)

